

# 議会だより

第105号

平成28年7月26日  
(2016)

発行 山ノ内町議会  
責任者 議長 小淵 茂昭  
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡  
山ノ内町大字平穩3352-1  
☎0269-33-1101 (有)2020  
E-mail  
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと  
議会フェイスブックは  
町ホームページからアクセス



## もくじ

6月定例会関連記事	16
一般質問	18
管内視察	24
議会全員協議会・議会運営委員会	26
みなさんからの請願・陳情	26
みんなのひろば・編集後記	27

## 平成28年第2回定例会

28年度一般会計補正 TPPを想定した対策

# ぶどう棚資材助成に県補助金

産地パワーアップ事業1,000万円を含む  
総額5,700万円を追加

6月議会は、6月2日から15日までの14日間にわたって開催されました。28年度一般財団法人総合開発公社事業計画及び予算計画や放棄した私債権など4件の報告を受理し、27年度一般会計補正予算など専決事項8件を原案のとおり承認しました。

また議案では工事請負契約の締結3件、28年度一般会計補正予算(第1号)など3件、金融機関の指定1件、条例の制定は個人番号の利用に関する条例の他に一部改正が1件、すべて原案のとおり可決しました。

陳情2件は採択1件・不採択1件、要望は継続審査としました。また委員会提出の意見書は、原案のとおり可決しました。(26P参照)

一般質問には12人が登壇し、福祉や教育また産業振興策など、町政の諸課題について幅広く町の考えをいただきました。

## 28年度補正予算

### 一般会計(補正第1号)

歳入の主なものでは「産地パワーアップ事業1,000万円」があります。これは先行き不透明ながらも、TPPを想定した県の対策補助事業で、対象は今後生産の伸びが期待されるシャインマスカットのぶどう棚資材です。他に「財政調整繰入金2,675万円」などです。

歳出の主なものでは「災害復旧工事1,369万円」で北小学校



攻めの農業として期待のシャインマスカット圃場

## 条例制定

### 個人番号の利用に関する条例

マイナンバー制度の「個人番号カード」交付がこの1月から始まっています。この個人番号は従来の個人情報と比べ強力な個人識別機能を有します。そのため庁内事務では個人情報保護を目的に、利用限度を条例で定めるものです。最終日の採決では起立採決により、賛成多数で可決しました。

賛成12人 反対1人  
個人番号カード発行状況  
申請数 745枚

(H28年5月末現在)

発行数 379枚  
(H28年6月9日現在)

## 反対討論

渡辺 正男

条例案は「独自利用事務」について規定し、他の行政機関などへの情報提供における「法定利用事務」間の連携や「独自利用事務」の町内連携を可能とする旨を規定している。必要な事項は規則に委任するというところで議会議決が不要となるのは問題。情報流出への懸念も払拭できない。国家による個人情報の集積も問題。制度導入に3,000億円、毎年の維持管理費300億円というコストにも問題がある。

### 手数料徴収条例の一部を改正する条例

マイナンバー制度導入にともない、住基カードの新たな発行はしないこととなりました。これを踏まえて条例の一部を削除したものです。

# 27年度補正予算

## 一般会計（第6号）

当該年度の最終補正となる一般会計補正予算では、基本的に大部分が精算による増減額となります。1億767万円を減額し、予算総額を67億2,764万円としました。

### 歳入の主なもの

▼一般寄附金では195万円増額し2億195万円となっています。なおこの内ふるさと納税分は、1億1,952万円と対前年比9.8倍となりました。

▼地方消費税交付金は1億1,000万円、地方交付税は5,600万円の増となりました。

### 歳出の主なもの

#### 道路維持費（町道除雪）

前年度の除雪費は記録的な大雪で3億2,091万円の決算となりましたが、今年度は一転し、当初予算1億4,000万円が2,469万円の減額補正となっています。▼介護保険特別会計繰出金1,186万円の減額補正となりました。

#### 一般会計 主な質疑

【質問】北信保健衛生施設組合斎場負担金は財源振り替えがなされているが、過疎計画には当初から入っていたのか。

【総務課長】特定財源は対象事業費確定による減額で、当初からの過疎対策事業費。

【質問】ロマン美術館の入館者



ふるさと納税 感謝特典制度のご案内

10,000円以上ご寄附をいただいた方に、お好きなお礼の品を差し上げます。翌年、年次にかかわらず次回でもご利用いただけます。

ふるさと納税の流れ

ふるさと納税のメリット

入金方法	ふるさと納税のメリット	ふるさと納税のデメリット
クレジットカード	ふるさと納税の金額が自動的にふるさと納税として引かれる。	手数料がかかる。
お礼の品	ふるさと納税の金額が自動的にふるさと納税として引かれる。	お礼の品がほしい。
現金書留	ふるさと納税の金額が自動的にふるさと納税として引かれる。	現金書留の送料がかかる。
銀行口座	ふるさと納税の金額が自動的にふるさと納税として引かれる。	銀行口座の振込手数料がかかる。

### 順調にのびているふるさと納税

数と入館料収入の見込みは。  
**教育次長** 入館者数は4,836人、収入は165万円。

## 特別会計

### 国民健康保険（第3号）

医療費の上昇などにもなう財源不足を見込み、28年度より国保税が34%値上げされていますが、今回の最終補正では2,448万円の減額補正となりました。税率改定の判断材料となる保険給付費の予想値設定は、より正確を期すべきとの質疑・討論の後、起立採決をおこない、賛成多数で可決しました。

賛成11人 反対2人

## 反対討論

渡辺 正男

歳出の保険給付費総額が、今回補正では6,329万円減の11億2,248万円となった。これは26年度の決算を0.1%下回るもの。基金は1,276万円の取り崩しが必要とのことだったが、逆に2,238万円の積み立てとなり、基金残高は9,240万円にもなった。これは「国保税値上げが必要」とした判断に疑問符が付いたことを示している。町も議会も責任を問われることになる。

## 報告

○一般財団法人総合開発公社事業計画及び予算（第2号）

26年4月に一般財団法人に移行して2年経過しました。3年目となる28年度事業計画及び一般・特別会計の報告を受理しました。

○放棄した私債権

【有線放送電話使用料】（第3号）

放棄した私債権の件数は157件、額は30万1,300円となっています。

主な質疑

【質問】債務者死亡による債権放棄は、法定相続人に支払いを求めているのか。

【総務課長】条例どおり処理している。

【水道料金】（第4号）

放棄した私債権の件数は123件、額は799万6,473円となっています。

○一般会計予算の

繰り越し報告

## 契約の締結

○中学校体育館改修工事請負契約

契約金額 7,560万円

○学校給食センター改修工事請負契約

契約金額 5,076万円

○28年度橋梁補修（橋梁長寿命化）工事請負契約

契約金額 5,076万円

質疑

【質問】渋和合橋の橋梁長寿命化補修工事は車道のみか、あるいは歩道も含むのか。

【建設水道課長】歩道に関しては、平成7年の建設というので、今回は見送らせて頂く。



補修工事が始まった和合橋

# 一般質問

## 想定外が起きないための対策を

児玉信治



**質問** 地震など大規模災害時に優先する業務をまとめる「業務継続計画」の内容と策定は。

**危機管理室長** 「業務継続計画」は非常時の限られた人的・物的資源を活用して、応急業務や優先的に実施する必要がある業務を時系列で整理し、地域防災計画に定める災害時対策の実効性を確保し進めるためのもの。

**町長** 計画については本年4月から危機管理室に防災担当の職員として消防士1人を配置したことから、地域防災計画などの見直しを含め、本年度内に策定できるように取り組んでいく。

**質問** 防災計画によると、地震発生時、震度6弱の揺れか、気象台の予知の場合災害対策本部を設置するとあるが、設置基準は何か。  
**危機管理室長** 県地震対策

基礎調査によるもの。

**質問** 対策本部は役場庁舎とあるが震度6に耐えられるのか。また、非常用の発電機の状況は。

**危機管理室長** 耐震診断の結果によると、新耐震基準は確保されているが一部補強が必要であり29年度に対策をする予定。非常用発電機については、本年度は発電機の設置、屋内の配線工

事など。来年度は受電設備の改修、変圧器の設置などを行う予定。

**質問** 当町には多くの観光客の皆さんが滞在されているが、防災計画ではこの人数を加算して策定されているか。

**危機管理室長** 具体的な計画はない。「業務継続計画」の策定に合わせ、見直し対応していく。



熊本地震を教訓に

## 情報モラル・情報リテラシー教育の推進を

高田佳久



**質問** 情報メディアに関する知識・使用状況について、町での実態調査は。

**教育長** 行っていない。

**質問** 国・県での調査では、子供たちの使用実態を保護者が認識していない結果がある。親子のギャップを把握するために実態調査は必要では。

**教育長** 必要があれば行う。

**質問** 情報機器に関し親子で学べたり、グループ討議が行える授業の取り組みを。グループ討議は、

一つの形態として校長会などで提案していきたい。

**質問** 情報機器への長時間接触や不健全な使用を規制する必要性は。

**教育長** 東小学校のPTAで、ノーマメディアデーに取り組んでいる。また、学校だよりなどで協力を呼びかけている。

**質問** 情報メディアの健全な利用に係る条例などの必要性は。

**教育長** 現実問題として条例などで規制できるものは考えにくい。

**質問** ネット依存の現状や親子のネットなどに対する



情報メディア講習会

ギャップを考えると、個々の家庭や学校だけでは限界がある。情報機器の使用に關しルールを決め、守るという意識を地域全体で醸成して高めていく取り組みが必要では。

**町長** 安心して暮らせるルール作りは必要だが、規制で子供たちの自由を奪っていくものかと感じる。

**質問** 条例制定を含め、実態調査や親子で学ぶ授業について、総合教育会議や教育委員会での検討を。

**教育長** 今後、話題になっていくと思う。

# 山ノ内町観光連盟に対して 町のスタンスは

山本光俊



**観光商工課長** 情報は内容により連盟へまわしている。

**質問** 町総合開発公社とは何か。

**総務課長** 町長が理事長、副町長が副理事長、総務課長が専務理事の一般財団法人。農業アドバイザー、広告会社、農林、観光商工、総務課職員、道の駅職員からなる地域資源開発会議にて宣伝を含め商品開発をする。

**町長** 観光商工課長が専務理事、町職員を次長として配置し業務適正化を図った。

**質問** 業務内容のチェックは。

**観光商工課長** 委託、補助事業も多数あり、計画に関わることも必要。連盟の自主性を失うのは避けたい。

**質問** DMO化の推進は。

**観光商工課長** 設立は各地区団体などで協議し進めるか、町が加わり進めたほうが良いのか、今後の課題。

**質問** インバウンド情報の取り扱い。

**観光商工課長** 連盟が担当どのように情報提供しているか承知していない。

**質問** 情報は主に県、県観光協会からの情報であり、観光商工課にも同じ物が届いているか。

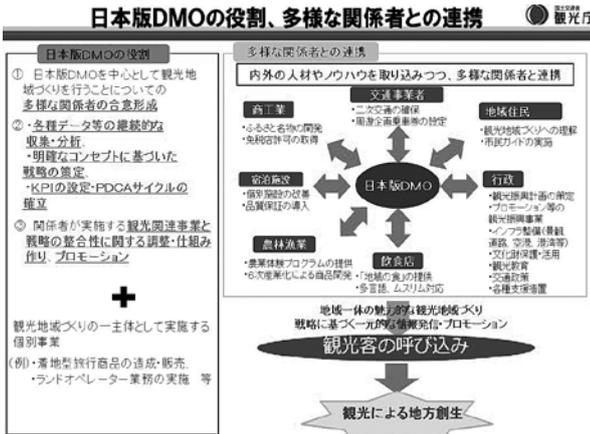
体関係者の意見要望を取材し会議に反映させているか。

**総務課長** 職員で検討・会議し決定する。

**質問** 商品開発・販売における責任者は誰か。

**総務課長** この会議の職員、地域の特産商品は観光地にとってブランド力、お客様誘引・滞在の大きな付加価値。職員はその事を十分考慮し事業を進める必要がある。

**質問** 職員は観光・農業団



観光庁による日本版DMOの組織概要

# 町制60周年記念 事業被爆2世樹木の現状は

高山祐一



**町長** 広島のアオギリ3本、長崎のクスノキ3本、6本中5本は越冬できた。次の冬に向けて移植を含めて、樹木医と相談して検討する。

**質問** なぜあの場所なのか。

**町長** 平和観音であり、大悲殿の中に広島被爆の「平和の灯」を燃やし続けている。「平和の丘公園」の名を持ち、平和のシンボルの場所である。

**質問** 樹木医さんは、経験のない樹木に対しては、他の樹木医の意見を聞くことが肝心だと聞いているが。

**建設水道課長** タイヤチェーンなどによる舗装内には

他の樹木医の意見を聞くことが肝心だと聞いているが。



ここに大木のクスノキが育つのか

**総務課長** 他の樹木医の意見を聞くという事はなかった。

**意見** 毎年数人の生徒が「平和親善大使」として、広島へ派遣されていること、標高が100mほど低いこと、多くの人の目に触れること、常に世話ができること。以上の理由で中学校に移植の検討を。

**質問** 冬期間志賀高原のトンネル(1号トンネル下り線)は、かなり危険だがその対策は。

**建設水道課長** タイヤチェーンなどによる舗装内には

他の樹木医の意見を聞くことが肝心だと聞いているが。

**建設水道課長** 現場をよく確認し、県へ伝える。

**その他の質問** 〇防犯カメラ導入について 〇信州あいさつ運動について

# 北小の空き施設の有効利用は

小林 克彦



話し合いの進捗はよくは。

**総務課長** 九月末廃止は延期されたが、運行方針については、長電・中野市と引き続き協議中である。

**質問** 来年三月末で閉校となる北小学校の空き施設の利用について、地元でもいろいろな意見が出ている。町は意見集約の進め方をどのように考えているか。

**町長** まず三月議会で答弁した集落支援員の人件費は六月補正に計上している。

**総務課長** 小さな拠点づくり事業として取り組むが、地域住民が主体となった持続的な組織体制として協議会などを立ち上げ、将来ビジョンを策定する準備を進めている。集落支援員はその橋渡しの役目をして頂く。

**質問** 高校生の通学定期補助を公共交通の利用者増を図る事からも、使い勝手のよい方法を考えられないか。

**総務課長** 本年度からの事業のため、しばらくは様子を確認したい。

**質問** 路線バスの見直しの

話合いの進捗はよくは。

従事者に還元してより魅力ある産業とすべきと思う。

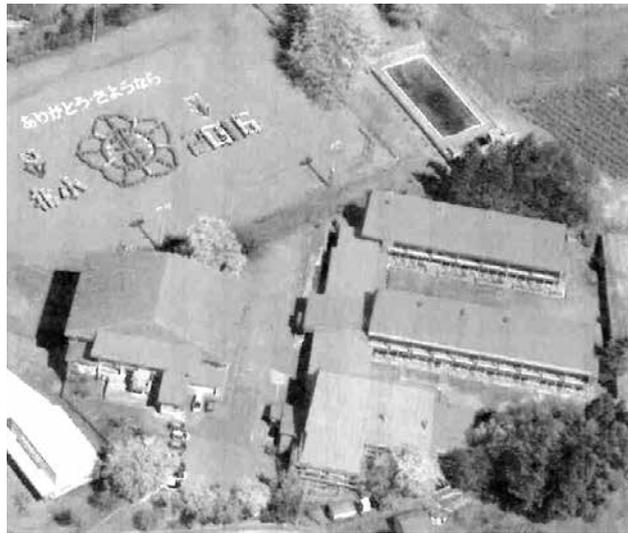
そのための人材育成と共に取り組みはどうか。

**町長** 町はまだ取り組んでいない。人材育成は重要で工夫を重ね実施している。

**観光商工課長** 観光と農業の繁栄を利用し効率化を図る。

**農林課長** 農地利用集積の他、研究をしていく。

**質問** 観光も農業も労働生産性を上げ、その成果を賃金や労働時間の短縮の形で



北小学校全景

# 観光振興には「おもてなしの心」と「人材の育成」が重要

西 宗亮



**観光振興の推進について**

**質問** 第三次観光交流ビジョンに掲げている「おもてなしのまちづくり」をどう進めていくのか。また、その中でホスピタリティの向上、人材の育成を具体的にどう取り組んでいく考えか。

**観光商工課長** 町内での人材育成は難しい面もある。県の「おもてなし塾」や中高職業訓練校などを活用していきたい。

**質問** 旅館業法施行令の一

部改正で一般家庭や、マンションでの「民泊」営業が可能になるが、当町には多くの旅館・ホテルがあり、既存の宿泊業の振興支援を最優先すべきである。民泊が可能になる県条例改正には断固反対を表明すべきと考えるが。

**町長** お客様には衛生面、防災面など安全で安心して快適にお泊りいただけることが大切。当町では「民泊」は歓迎せず、既存の旅館・ホテルを大いに活用していきたいと思っている。



「観光ビジネス科」を備えた中高職業訓練校

い人が同居していても勤めに出ているケースも多く、残っている高齢者や運転ができない者は通院に難儀をしている。こんな声は町に届いているか。

**健康福祉課長** 直接は聞いていない。

**質問** 改めて町民の方の声を聞き取り、これをどう活かしていくか。

**町長** 改めて町民の方の声を聞き取り、これをどう活かしていくか。町民目線では今後しっかり取り組んでほしい。

**その他の質問** 〇災害時緊急避難と迂回路指定について

**交通弱者支援策について** 平日の通院には、若

# 子育て支援は、お母さんたちの声に耳を傾けることから

布施谷 裕 泉



**町長** 子育て支援制度充実に向けて、総合的な判断で対応していきたい。

**発達障がい者支援**

**質問** 発達障害者支援法が

10年ぶりに改正され、職員への積極的な周知も義務付けられた。今後の対応は。

**教育長** 県からの通知もある。しっかりと意識した研修

をするよう学校へ伝える。**質問** 発達障がい者の意思

を反映させたい。

**移住推進について**

**質問** 移住推進は地域の受け入れ態勢がカギ。地域の

参加する推進協議会の立上げを。**町長** 必要性も含め充分検討したい。

表示のツールとして「ヘルプカード」は大変有効と考える。取り組みの検討をしている。前向きに研究したい。

**質問** 今、少子化が進むことと並行して、育児ノイローゼや育児放棄、また産後うつなど母親の心のケアの必要性が高まってきている。子育ての悩みは必然であるとの、科学的な根拠も示され始めている。このような状況をどう認識しているか。**健康福祉課長** 細かな統計は取ってなく現状を把握していないが、今後の状況で対応を考えていきたい。

**質問** 子育て中のリフレットシユタイムは健全な精神状態を維持するために必要不可欠。一時保育の利用条件に盛り込むべきでは。**健康福祉課長** 財政的な問題もあるが、今後検討していきたい。

**質問** ファミリー・サポート・センター事業の取り組み



ファミリー・サポート・センター事業は厚労省が取り組む支援事業の一つ

# スポーツ推進計画の実態調査・意向把握の進め方は

渡 辺 正 男



**教育長** スポーツ基本法では国のスポーツ推進計画を

参照して地方の実情に即した推進計画を定めるよう努めることとされている。従

来は町総合計画の一部に記載していたが、スポーツに

特化した計画として29年度に委員会を設け策定する。

実態・意向調査は本年度無作為抽出1,000人の住民

アンケートを予定。**質問** 子どもたちの声を反

映すべきと考えるが。**教育長** 次世代を担う子ど

もたちの意向把握に努めたい。具体的な方法についても参考に進めていきたい。

**質問** 計画に盛り込むべきと考える課題は。

**教育長** はつきりとしたものは今持ち合わせていない。

**質問** 学校体育と社会体育の連携、総合型地域スポーツ

クラブ、拠点となるスポーツ施設、スポーツツーリズム、国際的に活躍する選

手の育成の充実などが大きな課題になる。白馬村の

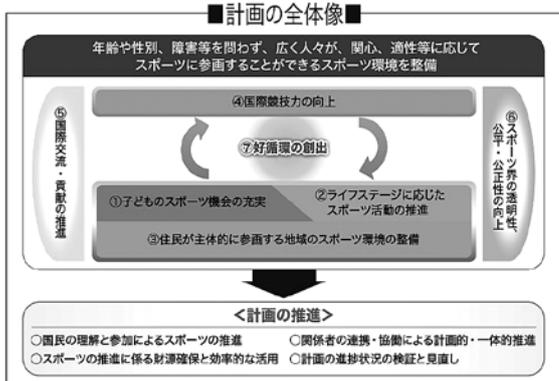
スポーツ推進計画は26年度に策定されているが、アンケートは成人1,000人、

中学校全生徒240人、小学校4〜6年生全児童236人からとっている。子どもと大人では、やりたいスポーツやほしいと思う施設などが大きく違っている。年代によってニーズにばらつきがあるというところは参考になる。当町でも小学生をアンケート調査の対象に含めるべきと思うが。

**教育長** 児童生徒の意向もしっかりと聞いていきたい。**その他の質問**

○国保税値上げの是非は

○小学校統合の基礎調査は



「スポーツ基本計画の全体像」(文科省のリーフレットより)

# 農業と観光の相互扶助策を



小林 民夫

図る方向になった。

**質問** 生食のぶどう生産が結局選ばれたというが、もしワイナリーをやりたい人が

**質問** 農業の6次産業化ということで開発公社ではそば焼酎とかシードルを販売している。この原材料は山ノ内の物であろう。だが製品はどこでつくっているのか。

がちまたにあふれてきたとする。町としては最大の支援態勢を整えて、ワイナリーをやりたい人は山ノ内へいらっしやいという移住・定住の呼びかけをする気持ちはあるか。

**農林課長** 山際の耕作放棄地の活用のためにワイン加

工用のぶどうなどの栽培が見込めるなら支援をしたい。  
**意見** ワイナリーのある温泉場、スキー場がどれほどイメージがアップするか。周辺にはベーコンやハム生産などの関連事業も興る。新酒解禁は観光のシーズンオフ対策にもなる。  
移住・定住対策にワイナリー起業希望者支援策を含めることを提案する。

**総務課長** そば焼酎は佐久の醸造所に依頼している。  
**質問** それでは6次産業化ではないでないか。1+2+3+6の2が抜けている。  
**町長** 地元の酒蔵ではそば焼酎をつくる施設がない。  
**質問** 地元の原料で地元で製品をつくり地元で売る。これを考えたかどうか。山ノ内でワイナリーはどうか。  
**町長** 町制30周年記念の際に山ぶどうを原料とし、栽培した。町外のワイナリーに委託してつくったことがある。2〜3年やったが採算が合わなかった。結局生食のぶどうでブランド化を



ワイナリーからの風景（ドイツ）

# 希望の持てる観光ビジョンを

湯本 晴彦



ユネスコエコパーク

**質問** ユネスコエコパークだけで宣伝していくことは誤解を生みやすい。自然と人間社会の共生がうまくいっているモデル地域が山ノ内だと認定されている。その理念を活用した取り組みに焦点を合わせるべきでは。

**町長** 山ノ内町がリードして、全国サミット開催、東アジア会議の招致、全国ネットワーク会議を志賀高原で開催など、推進している。専門でユネスコエコパーク

推進室を設け、国と連携を取りながら対応もしている。  
**質問** 自然や生物圏と人間社会が共生して、しかも持続的発展となることを発信していくリーダー役になるべきでは。  
**町長** もつともだ。ユネスコエコパークの基本理念は「自信と誇りの持てる我が郷土」の一番の礎になる。  
**観光に関する財源**  
**質問** 観光への新たな投資をするためにも、新たな税金源を持つ考えはないか。  
**町長** 自然利用税やホテル利用税など提言はあるが、



平成28年度よりスタートした第3次観光交流ビジョン

【平成28年度～平成32年度】

なかなか厳しい。今、国立公園の活用を政府が進めているので、内閣府へアプローチしている。  
**期間を集中した観光対策**  
**質問** 地域資源の活用は全町のオプシーズンになるゴールデンウィーク明けから7月上旬に集中して力を注いで。  
**観光商工課長** エビモリは誘客イベントではないが、この期間の誘客を図る必要がある。  
**その他の質問**  
○人づくりについて  
○中高職業訓練校について

# 消防団に女性のラッパ隊設置を



**消防課長** 検討したい。

**B型肝炎ワクチン接種年齢の拡大を**

**質問** B型肝炎は幼児期にウイルス感染し、キャリア（持続感染者）すれば成人してから、肝硬変などの重篤な病に進行しやすい。国は幼児のB型肝炎ワクチン接種を定期接種にする方針だが町の予定は。

**健康福祉課長** 28年10月に

望月 貞明

生後2か月から8か月の幼児を対象に接種の予定。

**質問** B型肝炎は母子感染が主だが、血液、唾液などを通し家族や保育園での感染も少なくない。一旦感染すると20〜50%がキャリア化する。これらの予防を考えると3歳までのワクチン接種を拡大すべきと思うが。

**健康福祉課長** まだ、国の指針がなく、答弁できない。

**質問** 消防団のラッパの役割は。

**消防課長** 本来ラッパは、団員への指示伝達に使用される。現在は無線機があり、式典での演奏が主な任務。

**質問** 機能別消防団員とは

消防団活動の一部の役割を特化して担う消防団員と解釈してよいか。

**消防課長** 同様に考える。

**質問** 町では女性消防団員を募集しているがどんな活動を想定しているか。

**消防課長** 特に決めてないが、予防や広報などの活動がある。まだ団員はいない。

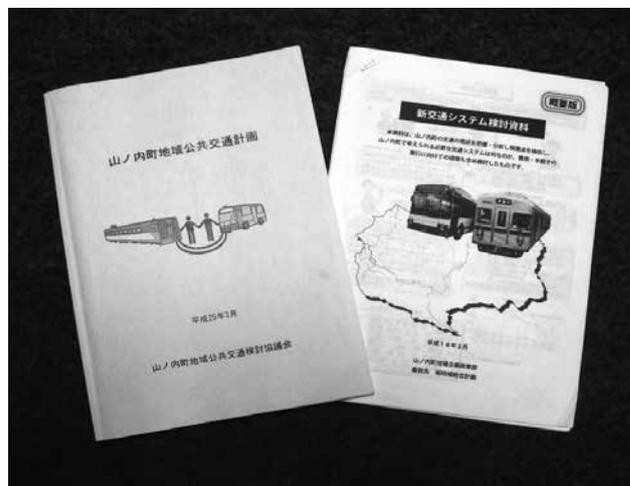
**質問** 定員が少ない部では、音楽的素養が必要なラッパ団員確保が困難な場合がある。一方で吹奏楽経験者に女性が多い。女性を入団しやすくすることなどを考慮し、消防団に女性のラッパ隊の設置を。



女性消防団員募集ポスター

# どうする、厳しい公共交通の解決策は

徳竹 栄子



10年前の交通システム計画

**質問** 公共交通機関検討会議の交渉は色々な選択肢を

考え望むべきではないか。

**副町長** 厳しい状況、新しい選択肢を提示し交渉する。

**質問** 平成17年の新交通システム検討資料に、デマンド交通は将来行うと結論を出した。今がその時期と考

える、残せる既存バス路線とデマンド交通の2本立ての交通システムも必要ではないか。

**町長** 民間と行政が協力できる方法を検討し対応する。

**質問** 高校生通学定期券補

助制度利用者は伸び悩んでいる。ニーズと運行体制の再調査を。

**総務課長** アンケート内容の再確認、見直しも考える。

**ユネスコエコパーク**

**質問** 審査基準に「移行地域は緩衝地域を支援する機能を有する」とある、この説明と周知が必要では。

**観光商工課長** 移行地域の必要性と、自然を保護し産業振興を行う事である。

**質問** 移行地域の住民が自然を守り、経済活動を通して持続可能な生活を実証し、エコパークを支える重責が

ある事を周知する事が大事と考えるが。

**町長** その通り。エコパーク推進室を置き、地域の方々と一緒に進めている。

**児童クラブ**

**質問** 西小児童クラブの登録者が増加している。2教室体制の支援員の増員を。

**健康福祉課長** 来年4月に向けて準備中、今後も検討する。

**町長** 教室の利用、支援員の確保に努力していきたい。

**質問** 統合後の運営方法は

# 総務産業常任委員会

6月10日（金）に管内の視察研修を行いました。今回は11か所見て回りました。

## 道の駅北信州やまのうちのよってかっしやい屋

昨年、町制施行60年の記念事業の一環として、地元果物を使っただき氷やご当地ソフトクリームなどを販売する店舗を設置しまし

た。道の駅の魅力アップとともにご当地果物のPRにもつながりました。

## 田ノ原湿原入口遊歩道

昨今のゲリラ豪雨で、遊歩道が掘られてしまったり、凸凹してしまったり箇所を、側溝設置と石階段による修繕が行われました。

## 石ノ湯法坂線

幕岩コースと呼ばれる遊歩道ですが、昨今土砂崩落などで、安全に歩くことが困難でありました。その補修箇所を視察しました。そもそも落石が多発する地帯で、工事も時間がかかると思われます。

## 浄水場膜ろ過設備デモンストレーション

更新される予定の南部浄水場の膜ろ過方式



志賀高原田ノ原湿原入口遊歩道  
景観にも配慮されて、遊歩道の修繕がされた

の浄水設備のデモを視察しました。膜ろ過とは、小さい穴がたくさん空いた中空系膜が1本の管に対して、約9,000本入っただけ、外から原水が入り、その時にろ過



実際のろ過実験。右側がろ過前の水（濁度100以上）、左側がろ過後の水

されて、中空系膜の中を通った清浄なる過水が流れていくしくみです。実際に濁った水がきれいな水になる様子を見ました。

## 上林・地獄谷入口周辺

湯田中駅トイレの女子トイレに暖簾が設置されました。また、男子トイレの入口スロープの滑り止めも張り替えられ、きれいになっ

## 湯田中駅トイレ

た。事業者は地獄谷野猿公苑になります。既存トイレを新しくし、便器も増やしました。また、おむつ交換台完備の多目的トイレも設置されました。

## 山ノ内町消防署

高規格救急車を視察してきました。従来の救急車に比べ、再帰性に富んだ反射材が使われ、回転灯を消している、夜間は目立つようになっています。また、血中酸素濃度が測れる機器や自動で心



上林・地獄谷入口周辺  
左が新築されたトイレ。右が多目的トイレ。

## その他視察箇所

- 有線本部
- 有害鳥獣解体場
- 町道土橋明神下土浦線
- 国道403号線裏落合工区

# 管内視察報告 評価

# 常任委員会 現状と

## 社会文教常任委員会



北小学校屋根応急修理状況

①平成28年4月17日、突風により管理棟屋根のトタンが約450㎡剥げました。ブルーシートで覆う応急修理を施しました。復旧工事費中1,200万円を災害復旧工事費として国に申請中です。この申請には風速15m以上が必要です。が飯山アメダスは15・8mでした。②統合の準備が進

6月10日(金)に8か所の視察を行いました。内、3か所のご報告をさせていただきま

### 北小学校 須賀川

6月10日(金)に8か所の視察を行いました。北小と西小の生徒の交流は学年ごとに月1回、全校として月2回行われています。地域の回覧板でも交流便りが回されています。

北小の閉校事業は5部から成る72名で取り組む中。保護者交流もPTA役員、3役、保護者懇談会などの実現も懸案です。卒業式・閉校式・統合式・入学式の検討も必要です。

### 豊田興産 中野市豊津

プラスチック製容器

包装中間処理施設です。28年4月1日よりプラごみの分別収集が始まりました。山ノ内町からは年間100トンの排出を予定



中間処理されたプラごみ

しています。北小と西小の生徒の交流は学年ごとに月1回、全校として月2回行われています。地域の回覧板でも交流便りが回されています。

山ノ内町で集められたプラごみはこの中間処理施設に運ばれます。ここで袋が破られ中のプラごみはベルトコンベアに乗ってその両側の人たちに仕分けられます。ガラス、コード、ビニールなどは除外されます。最後にプラごみだけを結束して一辺1mの立方体にまとめ最終処理業者に引き渡されます。

### 斎場「たびだちの森」

中野市豊津

28年5月1日

より供用を開始しました。総事業費は約11億5千万円でした。火葬炉3基、告別室2室、収骨室2室があります。複数の火葬の際にも遺族が互いに接触しないように工夫されています。建物への入り口と出口が別です。また、待合室は3室ありますがこれ以外に共用ロビー(子どもの遊べるスペース付き)も備えています。駐車場には大型バス1台、マイクローバス2台、乗用車22台が置けます。斎場関係市町の5月1日から5月30日までの利用件数は、山ノ内町14件、中野市51件、信濃町16件、飯綱町20件でした



新斎場「たびだちの森」

### その他の視察箇所

- さわやか千歳グループホーム
- 南小学校教員住宅
- 水道膜ろ過システム
- 高水福祉会総合安心センターはるかぜ
- 特別養護老人ホーム 高社寮移転建設工事 予定地

(他に管外が2件)。

# 議会全員協議会

第8回 (3月28日)

- ・議員活動費会計規約の改正
- ・平成27年度議員活動費会計決算
- ・平成28年度議員活動費会計決算
- ・議員交流会における活動費の抛出
- ・建設業山ノ内会の陳情対応

第9回 (5月23日)

- 町側から
- ・北小学校強風被害
  - ・紛争課題の対応
  - ・農道の往来妨害
  - ・熊本地震への公費義援金
- 議会から
- ・議会運営委員会（活性化）からの提言
- 要望検討結果

第10回 (6月22日)

- 町側から
- ・国際友好交流都市
  - ・公金窓口業務の閉鎖
- 議会から
- ・議会運営委員会（活性化）からの提言
- 要望検討結果

第11回 (6月15日)

- 議会から
- ・総務課企画財政係との懇談会

## 議会運営委員会（活性化）

第11回 (4月28日)

- ・平成27年活動実績
- ・平成28年度の活動
- ・活性化のための提言・要望検討

第12回 (5月17日)

- ・活性化のための提言・要望検討



今後閉鎖予定の役場公金窓口

## みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情・請願者	採決結果
陳情第4号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情	中高地区労働組合連合会 議長 畔上 稔男	採択 (意見書送付)
陳情第5号	公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	中高地区労働組合連合会 議長 畔上 稔男	不採択
要望第1号	ゆみち遊歩道の融雪についての要望	上林温泉観光協会 会長 長谷川 俊次	継続審査

『陳情第4号「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情』要旨

最低賃金法第9条に則り、最低賃金の地域格差をなくすべく大幅な引き上げ、また中小企業支援策の拡充を実現させるため下記の事項につき意見書を提出するよう陳情する。

○陳情の採択を受けて提出される意見書

- 1 政府は、ワーキングプアをなくすため、最低賃金の大幅引き上げを行うこと。
- 2 政府は、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。
- 3 政府は、中小企業への支援策を拡充すること。中小企業負担を軽減するための直接支援として、中小企業とそこで働く労働者の社会保険料負担の減免制度を実現すること。
- 4 政府は、雇用の創出と安定に資する政策を実施すること。

# みんなのひろば

昨年春、信大志賀自然教育園に着任された水谷さんからうかがったお話を、2回に分けてお届けします。

水谷 瑞希さん

## 信大志賀自然教育園

志賀自然教育園は、志賀高原のシンボルである志賀山の麓にあります。始まりは今から半世紀以上も前にできた教育学部の山小屋にまで遡ります。その後、教員や学生の手作業で、施設の整備が始

まり、さらに国と県による自然観察路の整備などを経て、1966年に現在の施設が発足しました。

現在、信大教育学部生の自然教育実習を始め、他学部や他大学の野外実習や野外研究の場として活用されています。総延長3.5kmの自然観察



### プロフィール

1973年生まれ。2002年、名古屋大学大学院で学位取得(博士〔農学〕)。同年、福井県庁に入庁し、福井県自然保護センターおよび本庁において、自然保護行政と農林水産行政に従事。野生動物管理や鳥獣被害対策、希少野生動植物の保護、自然保護思想の普及啓発などに力を注ぐ。2015年、信州大学教育学部附属志賀自然教育施設(志賀自然教育園)に助教として着任し、環境教育を担当。専門は森林生態学。

### 研究内容

野生動物と人間の共存を目指して、さまざまな研究を行っています。現在の主要な研究テーマのひとつは、ドングリ類の豊凶予測です。秋にたくさんの実をつけるドングリは、クマなど様々な

路、志賀高原に生息する哺乳類や鳥類の剥製を展示した資料館、高山植物を植栽したロックガーデンがあります。これらは誰でも自由に利用できるよう開放しており、多くのお客様が訪れています。

野生動物の重要な餌であり、それを食べる動物の行動や個体数の増減に影響を及ぼすことが知られています。クマの大量出没がドングリの豊凶に左右されるというのは、よく知られていることですね。このドングリの広域的な豊凶を把握したり、事前に予測したりする技術の開発を、おもに中部日本地域を対象に行っています。この手法が確立すると、クマの出没予測のほか、イノシシやサルなどの管理にも役立つことが期待されます。



ドングリ類の豊凶予想調査

一方、鳥獣害が問題となっている種だけでなく、野生復帰の取り組みが進められているコウノトリのように、絶滅の危機に瀕した動物も対象に

しています。また、野生動物と人間との共存に関しては、動物だけでなく「人」も研究対象です。鳥獣害対策やコウノトリの野生復帰に関わる、地域住民の意識や行動について、自治体と協力して調査を行い、自治体の施策や総合的な「地域づくり」に結びつけていくような提言を行っています。地域課題や社会問題の解決に結びつくようなテーマを追求することは、私の研究の大きな特徴です。

## 編集後記

日本最大のスキー場HAKUBA VALLEY誕生、近隣の11スキー場が共通のオートゲートシステムを導入。すなわち1枚のICチップですべてのスキー場リフトに乗車でき、無料のシャトルバスを運行する。総面積は956ヘクタールとなり、志賀高原のスキー場面積425ヘクタールの倍以上、接続性などの広さの概念は別として「日本最大」「日本一」の呼称を使用し宣伝を開始しました。

「生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。変化に最も適したものである。」進化論ダーウインの言葉です。

白馬の外国人の取り込み強化戦略は明白ですが、顧みて当町はどうでしょうか。HAKUBA VALLEYに限らず、ひしひしと大きな変化の波の音が聞こえてくるのは私だけでしょうか。

様々な変化に適用できるように、いや、どうしたら変化に適用できるのかを日々考えていこうと気持ちを新たにいたしました。

(山本光俊 記)